

組合で取り組むSDGsについて理解を深めていただくためのセミナーを開催しました！
ご参加いただけなかった方、再度視聴したい方に向けて動画公開のお知らせです。

組合で取り組む



SDGs

スタートアップセミナー

最近SDGsという言葉をよく耳にするようになりました。SDGsとは、2015年に国連で採択された持続可能な開発目標をいいます。この目標はジャンルを問わず各業界が、社会・経済・環境等、総合的に各課題に取り組むことが提唱されており、2019年には滋賀県も「SDGs未来都市」に選定され、「世界から選ばれる『三方よし・未来よし』の滋賀の実現」に向けて取り組みを進めています。当会では、このSDGsの行動宣言策定に取り組まれた会員組合の事例紹介を通じてSDGsに理解を深めていただくセミナーを実施いたしました。このセミナーが動画としてご覧いただけるようになりましたので下記のとおり案内いたします。ご興味のある方はぜひご視聴ください。



配信
期限

2022年

2月28日 月 (予定)

セミナー内容

(空き時間にお気軽に！タブレットやスマホでもご覧になれます)

- 01 SDGsの概要および組合で取り組むSDGsについて
- 02 事例紹介：滋賀県テント・シート工業組合
- 03 事例紹介：おごと温泉旅館協同組合
- 04 事例紹介：滋賀県麻織物工業協同組合
- 05 総括

配信URL

- 01 ▶ 05 セミナー全体
<https://youtu.be/28jHNuQ3dVU>
- 02 滋賀県テント・シート工業組合事例紹介
<https://youtu.be/1sKamyUITnU>
- 03 おごと温泉旅館協同組合事例紹介
<https://youtu.be/YJJDYVrsbgM>
- 04 滋賀県麻織物工業協同組合事例紹介
<https://youtu.be/Gy-TOjKTDzs>



全て視聴 約1時間30分(上記1~5)
組合の事例紹介 各15分程度(上記2, 3, 4)
*事例紹介のみも繰り返しご視聴いただけます *申し込み不要

ご視聴いただきSDGsに興味を持たれた会員組合様につきましては、中央会が行動宣言策定のお手伝いをさせていただきます。お気軽にお問合せください。

お問合せ先 滋賀県中小企業団体中央会 振興課 松本 Tel:077-511-1430

事例紹介を行った3組合のSDGs行動宣言

1. 滋賀県テント・シート工業組合

滋賀県テント・シート工業組合 SDGs 行動宣言

私たち滋賀県テント・シート工業組合は、SDGs（持続可能な開発目標）に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することを宣言します。

私たちは、昭和55年の設立以来、相互扶助の精神を基本とし、同業者が集まり、事業の成長や合理化を図るための研修事業、調査研究事業や他府県同業者との情報交流を行うことで、組合員の経済的地位の向上及び経営の安定の促進に努めてきました。

令和2年設立40周年を迎える年に新型コロナウイルス禍に見舞われ、事業の安定、組合員のあたりまえの平穏な暮らしの脆弱性を改めて痛感いたしました。歴史的なエポックにあたり、世界の中の一員であることを自覚し、私たちが考える我々の社会貢献を3つにまとめました。これらの取り組みを通じて、持続可能な社会を目指す組合員とともにSDGsを実現していきます。

令和4年1月18日 滋賀県テント・シート工業組合 理事長 坂東克邦

人の育成、安心と夢を育む取り組み

従業員とその家族の健康維持増進への積極的な支援と、年齢や健康状態に応じた持続可能な働き方を推進します。

帆布製品製造技能検定に関する研修に加え、業界外の知識の吸収および安全教育の推進に努めることで、幅広い学びの機会を提供していきます。

製造、現場施工、PC作業等すべての業務をジェンダーを意識せず挑戦できる環境整備に取り組み、笑顔があらわれ魅力ある職場づくりを目指します。

持続的成長に向けて、常に研鑽し、ものづくり技術力の強化につなげ、生産性の向上を図ります。



ものづくり企業としての取り組み

世の中に価値ある製品を提供することで、従業員の働き甲斐も企業の成長も共に実現する取り組みを進めていきます。

コンプライアンスを徹底し、安全安心なものをづくりを通して、信頼される業界の維持に努めます。

カーボンニュートラルを目指し、グリーン購入適合生地等を使用したテント・シート製品の提供や用途開発に取り組み、環境負荷低減に貢献します。

夏場の日差し対策など、テントシート製品の使用を様々な用途で提案し普及させていくことでCO2排出削減の取り組みを業界として進めていきます。



パートナーシップ及び地域・社会との関わりの取り組み

テントシートを活用した災害を未然に防ぐ製品（防水、法面保護、防草シート等）の開発に取り組み、災害に強いまちづくりに貢献します。

組合内の連携はもとより、近畿ブロック、全国ブロックなど他府県の同種団体と連携を図り、業界の発展とともに持続可能な社会の実現に貢献します。

組合員と強固なパートナーシップを構築し、持続可能な社会の実現に向けて、組合員総意のもと相互の発展を目指す組合事業を進めていきます。

他業種も含め地域社会と連携し、地域に根差す組合として地域とともに発展を目指します。



2. おごと温泉旅館協同組合

おごと温泉旅館協同組合 SDGs 行動宣言

環境と観光のハブ温泉
～びわ湖を守り、温泉で寛ぐ～



私たちおごと温泉旅館協同組合は、SDGs（持続可能な開発目標）に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することを宣言します。

おごと温泉は日本一大きな琵琶湖に面し、世界文化遺産である比叡山延暦寺の麓にあります。周辺には歴史的建造物や、里山など風光明媚な観光スポットが数多く点在しており、そうした環境を通じて滋賀をそして日本を元気にするために何が出来るかを考え、行動する一歩として「人」「旅館業」「地域」を3つの柱として目指す取り組みをまとめました。これらの取り組みを通じて、持続可能な社会を実現し選ばれる温泉地になるために組合員とともにSDGsを実現してまいります。

令和4年1月18日 おごと温泉旅館協同組合 理事長 佐藤祐子

人における取り組み

従業員とその家族の健康維持や増進に積極的な支援を行い、年齢や健康状態に応じた働き方を推進することで、全ての人が健康で生き生きと働ける温泉地の実現を目指します。

おごと温泉の歴史理解により、郷土愛を育み美しい景観を身に着けることで日本文化に対する造詣が深まる、そんな働き方ができるような業務を通じて従業員に学びの機会を提供します。

美肌効果の高いPH9という良質の温泉の保全に努め、おごと温泉を利用される全ての人の心と体の健康促進に寄与します。

アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込みや偏見）に気づき、排除することで、お客様も従業員も性別に関係なく、自分らしく気兼ねなく振る舞える温泉地を目指します。



旅館業としての取り組み

お客様へのおもてなしを通じて、旅館業に対する魅力とやりがいを感じられる労働環境の実現を目指します。

地元の美味しい食材を積極的に使用し、地産地消により地域産業の活性化に寄与するとともに、フードロスゼロを目指し、適正な在庫管理や食べ残しの削減に努めます。

館内で使用するものは、お客様にご利用いただく物も含め、できる限り環境に配慮した製品を選択するよう努めます。

MatherLakeGoals（MLGs）※に賛同する温泉地として県や市町および地域とともに県民や観光客のハブ温泉として地元の皆様にも愛される温泉地を目指します。
※滋賀県が策定する琵琶湖版SDGs



地域における取り組み

地域に根差した温泉地として、地元活性に寄与するとともに、地域住民の防災拠点としても貢献できるように努めます。

水質保全や廃棄物の低減に取り組み、琵琶湖の多様な生態系を守ることで、皆様から愛される美しいおごと温泉の維持に努めます。

当組合内の連携はもとより、近畿ブロック、全国ブロックなど他府県の同種・同業団体と連携を図り、業界の発展とともに持続可能な社会の実現に貢献します。

SDGs推進のために、地域社会や他業種とも連携することで私たちの取り組みを広げていくことに努めます。



3. 滋賀県麻織物工業協同組合

滋賀県麻織物工業協同組合 SDGs 行動宣言

私たち滋賀県麻織物工業協同組合は、SDGs（持続可能な開発目標）に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することを宣言します。

私たちは1957年、滋賀県湖東地域の伝統産業・地場産業としての麻織物の安定成長を基本として同業者が集まり、滋賀県麻織物工業協同組合を設立しました。中小企業の機動力と伝統ある麻織物の産地の特性を活かしながら新しい商品開発・新技術の導入を図るため、関係機関の協力も得て産地振興と組合員の経済的地位向上及び経営の安定促進に努め、「近江上布」が1977年に国の伝統的工芸品として認定されました。

2022年に創立65周年を迎え、これまで培われ、受け継がれてきた協同組合の良さを生かして、より良い社会を実現するために私たちが考える「あるべき姿」を3つの取り組みにまとめました。これらの取り組みを通じて、持続可能な社会を目指す仲間と共にSDGsを実現していきます。

令和4年1月18日 理事長 川口徳太郎



日本文化の伝承と人の育成に関する取り組み

湖東地域の麻織物に関わる生産者が年齢や生活環境の変化にとらわれず、そのノウハウや技術を活かして活躍できる場を創出していきます。

日本の伝統産業や文化を将来的に担う近江上布をはじめとする麻織物の職人に関する研修を充実させ、質の高い教育を提供していきます。

国指定の伝統的工芸品近江上布の歴史教育や機織りなどの体験学習を通じて、近江上布・近江の麻織物に関わる全ての人々が滋賀県や日本の文化に対して理解を深めることに努めます。



ものづくり企業としての取り組み

約600年続く地域固有の産業として責任や誇りを胸に、伝統工芸の継承、地場産業の振興を通じて働きがいがある環境を実現します。

夏涼しく、速乾性があることで清潔に使用、丈夫で長持ちする麻の特性を活かした新たな生活用品を世の中に提供し持続可能な社会の実現に努めていきます。

成長が速く、CO2の吸収力が高いヘンプ等を原料とすることで、カーボンニュートラルの実現に貢献していきます。



パートナーシップおよび地域・社会との関わりの取り組み

温暖化が進む夏の暑さ対策など、肌に触れると涼しく感じる麻製品の使用を提案し、日用品として提供することで空調等に関するエネルギーの削減に寄与します。

国内はもとより国外の麻の産地、麻織物に関連する事業者や関係機関、行政との連携も含め、会員企業とともに、皆さまに愛される産地を目指し、伝統工芸の継承と約600年続く歴史の継続に努めていきます。

